



# 東村山稲門会ニュース

第335号

ホームページ <https://higashimurayama-waseda.jp/>



令和7年12月13日発行  
発行責任者：町田光高  
編集長：藤井省栄  
編集者：伊藤栄

## 新年を祝う会

## 創立30周年記念



世話人 伊藤 栄  
小野 浩一  
平井 康雄

### 令和8年 新年を祝う会 開催

日本初の女性首相の誕生、MLB ワールドシリーズでの日本人選手の大活躍、関西万博開催、戦後80年などレガシーとなる話題に事欠かない令和7年でしたが、皆さま方におかれましてはいかがな年でしたでしょうか。

年々私たちを取りまく環境は大きく変わり、利便性が高いAI・人工知能活用も身近なものとなりつつあります。一方で映画「国宝」のヒットのように古典芸能が再認識される事象も見逃せません。新しい時代の波を柔軟に受け入れつつ、そのベースとなる長い経験で培った伝統・文化・知恵が見直される時代が来ているといえそうです。

東村山稲門会の皆さまが新たな福と出会うことを祈念し、さらなる経験を重ねていかれる新たな年を慶び、東村山稲門会創立30周年をお祝いしたいと存じます。

立食スタイルでゆっくりご歓談ください。寛げるように椅子も多くご用意しております。

今回のアトラクションは早稲田大学ケルト音楽同好会、バンザイ同盟のパフォーマンスの他、現在活躍中のOB講話があります。料理は東村山地ビール、地元ソースのポールスタアを使った黒焼きそばなどもご用意しております。

令和8年の門出ならびに30周年記念事業こけら落としに相応しい和やかな会にしましょう！

ご家族の同伴を含めた多くの会員皆さまのご参加をお待ち申し上げます。

日時：1月24日（土） 受付開始 13:20～  
開宴：14:00～17:00  
会場：サンパルネ・コンベンションホール  
（東村山駅西口 ワンズタワー2F）  
会費：5,000円 同伴者等 2,000円



※昼食はとらないでご出席ください。

同封の東村山稲門会「令和8年・新年を祝う会」の出・欠ハガキは会場設営の都合上、12月31日（水）までにご投函ください。

※参加申し込み後、当日欠席となった場合は、会費をお願いいたします。

お問い合わせ等は、「お問い合わせフォーム」から世話人までお願いいたします。

（平井 康雄 記）

## 会からのお知らせ

## ○令和 8 年 1 月役員会

日時：1 月 10 日（土）14:00～16:30

場所：市民センター 第 4 会議室

## ○新入会員

平野 茂さん

（平成 4 年 文学部卒）

東村山市青葉町

福住 実さん

（昭和 53 年 政治経済学部卒）

東村山市久米川町

## ○退会

風間 和夫さん

（自己都合）

## 役員会だより

## 11 月 8 日（土）役員会の概要報告

## 1. 行事関係

## ①稲門祭（10 月 19 日（日））

- ・記念品販売はノルマを達成。景品は会員へお届け済。
- ・阿部茂さんと小野浩一さんが、当日、実行委員としてご活躍。

## ②市民雑学講座（映画）（12 月 6 日（土）予定）

- ・映画「ビルマの堅琴」市川崑監督、中井貴一・石坂浩二主演。サンパルネ・コンベンションホール。

## ③お誕生会（12 月 13 日（土）予定）

- ・9 月～12 月生まれの方対象。30 周年記念でお土産が少し豪華です。

## 2. 会議等出席報告

## ①小平稲門会総会（10 月 25 日（土））

出席者：町田さん、小森さん

## ②いなほ会例会（10 月 27 日（月））

出席者：小林（裕）さん

## 3. 総会（11 月 22 日（土））

- ・実施要領に基づき、最終確認を行った。

## 4. その他

## ①年の表記を、西暦表記にする。

- ・早稲田大学は西暦表記に一本化されている、昭和・平成・令和と和暦が 3 つ続き計算しにくくなった等の理由で、改正の提案あり。継続審議とする。

## 同好会だより

当会会員及びご家族の方は、いずれの同好会にも自由に参加できます。

## 書道同好会

世話人：大森 平八郎



10 月 29 日第 95 回 参加者 5 名（敬称略）：上（素）・田代・三宅・吉澤・大森。色紙の仕上げも残り 2 ヶ月となり、前回迄に手許に届いた手本をもとに時間一杯練習に励みました。

1 回目の添削は主として字形を、その添削内容を留意し乍ら書き上げた 2 回目は運筆面も併せて行ないました。1 ヶ月早く取り組んだ上さんは略完成近い状態迄に線が生きてきた様に思います。

画仙紙に書く予定の「祝東村山稲門会創立三十周年」の文字、大きさ等について田代氏に説明しご理解いただきました。未だ着手していませんが年内を目処に書き上げる積りです。赤荻夫人から休会の申出がありました。転倒して腰部を損傷、入院リハビリ中です。一日も早い全快を祈ります。

\* 第 97 回開催日 12 月 28 日（日）

\* 第 98 回開催日 1 月 31 日（土）

○開催日：毎月末日。

但し、公民館は月曜日が休館の為、  
月末が月曜日の時は前日（日曜日）

○開催時間：午後 3 時 40 分～5 時

○開催場所：萩山公民館  
（萩山町 2-13-1）

## 俳句同好会

世話人：黒田 祐司  
副島 健  
中沢 義則



10 月に東村山市の企画で全生園を見学する機会を得ました。全生園はご存じのようにハンセン病の患者が長年隔離されてきた施設です。誤った隔離は 1996 年のらい防止法廃止まで続きました。2025 年現在でも長年の隔離により故郷に身寄りがいなかったり、園外での生活に不安を感じる人達約 60 名が暮らしています。初めて訪れた全生園は秋雨に濡れ寂しげで、家族から隔離され闘病生活を余儀なくされた方々の苦しみを身近に感じました。苦しい生活の中でも各地のハンセン病療養所では、様々な文化活動が行われ、俳句も創作されています。入所者が発表の場とした「ふれあい文芸」に稲畑汀子さん特選の次の句がありました。

「白鳥座銀河の中に探しけり」 桜木安夫 (菊池恵楓園)

銀河の中に白鳥座を探している作者は、一瞬、出る事のできない療養所から離れた世界に遊んだのです。全生園もかつては棘のある柵の木の柵がめぐらしてあったそうです。園内の丘から入所者たちは柵のかなたの山々や田畑を見て故郷を偲んだと言います。今月は十月の句会で一平さんが選んだ、特選となった私の全生園を訪れた際詠んだ句を紹介します。

柵の花や望郷止み難し 鶴来

次回の第 143 回稲酔句会は 12 月 18 日の木曜日を予定しています。(場所は社会福祉センター予定)  
俳句に興味、ご関心のある方は「お問い合わせフォーム」から副島(そえじま)までご連絡ください。  
(副島 鶴来 記)

## ウォーキングの会

世話人：真泉 順一  
杉本 優

## — 高麗郷ウォーキング実施結果報告 —



11 月 3 日(月)お天気にも恵まれ、高麗郷ウォーキングを無事に実施する事ができました。今回体験参加の福住夫妻を含め 10 名での実施でした。当日は入間基地の航空祭と重なったため、途中まで電車は大混雑でしたが、全員定刻に集合できました。最近全国各地で熊の被害が報道されており、東京・埼玉でも目撃情報が多くなっております。そのため予定していた日和田山の麓を避け、比較的安全なコースを辿りました。高麗郷は大和朝廷時代に高句麗から日本に渡来した約 1800 人の人々を集めて作った集落で、その当時の痕跡を感じる事ができました。全員約 7km を完歩し、高麗川の韓国料理店で昼食会を催しました。石焼ビビンバとビールの味は格別でした。尚、体験参加の福住さんはこの後、正式に入会となりました。



\*参加者(敬称略) 大内一男・廣田佳郎・福住実夫妻・堀江泰夫・山上豊・町田光高・杉本優・真泉順一夫妻

(真泉 順一 記、杉本 優 写真)

テニス同好会



世話人：吉田 劭文

-例会開催報告-

10 月実績	開催回数	開催時間	総参加者	参加者/回	例会は 9 時～13 時が原則
	6 回	2 2 時間	45人	7.5 人	試合は全てダブルス戦

毎例会の活動状況を紹介すべきですが、今月は紙面の都合上、割愛させていただきます。


\*参加者名<9 月下旬～10 月上旬>

月日	時間	人数	氏 名 (敬称略・五十音順)
9/23	4H	7	定方・滝来(京)・中村(幸)・平井・安井・吉田 (劭)・吉田勝 (柳窪テニスコート)
9/27	2H	7	工藤・常世田・中村(幸)夫妻・野村・吉田 (劭)・吉田勝 (柳窪テニスコート)
9/29	4H	8	黒田・定方・田島・當間・常世田・野村・山口 (修)・吉田 (劭)
10/1	—	—	雨天中止
10/3	4H	8	黒田・定方・千葉・常世田・野村・山口 (修)・吉田 (劭)・吉田勝
10/8	4H	9	黒田・定方・田島・當間・常世田・野村・平井・山口 (修)・吉田勝
10/10	4H	8	定方・滝来(京)・千葉・常世田・野村・平井・山口 (修)・吉田 (劭)

\*参加者名<10 月中旬～11 月中旬>

10/19	2H	7	田島・常世田・中村(幸)夫妻・山口(修)・吉田(劭)・吉田勝
10/20	—	—	雨天中止
10/22	—	—	雨天中止
10/25	—	—	雨天中止
10/27	4H	6	黒田・常世田・中村(幸)・野村・山口(修)・吉田
10/29	4H	7	定方・滝来(京)・當間・常世田・野村・吉田 (劭)・吉原
11/ 3	4H	8	黒田・定方・田島・常世田・平井・安井・山口 (修)・吉田 (劭)
11/ 5	4H	6	常世田・中村(幸)・平井・山口 (修)・吉田 (劭)・吉田勝
11/ 7	4H	6	田島・千葉・常世田・中村(幸)・野村・山口(修)
11/12	4H	10	黒田・定方・滝来(京)・當間・常世田・富澤・中村(幸)・平井・吉田 (劭)・吉田勝
11/15	4H	10	工藤・黒田・定方・常世田・中村(幸)夫妻・野村・安井・吉田 (劭)・吉田勝
11/17	3H	5	定方・田島・千葉・常世田・吉田(劭)

囲碁同好会



世話人：青木 淳  
杉本 優

\*活動日： 11 月 6 日(木)  
\*場所： 社会福祉センター  
\*参加者： 4 名(敬称略) 堀田、一色、田島、杉本  
参加者が少なく、15 時に終了。

次回予定日は 12 月 4 日(木)、1 月は、1 月 7 日(水)。尚、早めに終え、近場で新年会を開催予定。(費用は同好会で負担します)。奮ってご参加ください。(杉本 優 記)



## ワセスポ応援の会

世話人： 小森 敏孝  
田邊 正史  
(担当) 富澤 文雄  
中村 幸宏

### 東京六大学野球 秋季リーグ戦 11月1日早慶戦応援報告 2回目の4連覇ならず



今秋季は、絶対的エース伊藤樹投手の不調、上位打線の不振で六大学で過去6回しかない4連覇を達成できなかった。伊藤樹君自体もドラフト2巡目という評価になり、悔しい思いに違いない。早実出身の田和君もドラフト2巡目で指名されている。

応援した早慶戦では、7回裏まで1:1のシーソーゲームで、8回に4点を取りその後2点取られるハラハラするある意味ではいい試合であった。また、寺尾君が打ったセンターフライを捕ろうとして慶応丸田君が壁に頭からぶつかり転倒するアクシデントがあった（その後大事に至ったとの連絡なし）。その時3塁ランナー小瀬君がタッチアップしてホームを踏んだのは賢明な判断であった。なぜならば、ボールが捕球されたが審判も不明の中、確実な1点を取り5:3の勝利に導いた。また、7回にはセンターに抜けそうなゴロをショート渋谷君が身を挺して取り、手でパスしてダブルプレーとなる大リーグ級？の好プレーがあった。この時、点を取られていればその後の展開がどうなったかわからない。なお、2回戦も3:0で勝利した。

表は、最終の今期の順位表を示す。慶応に2連敗すると5勝7敗となり立大に負け5位、1勝2敗だとすると立大と同率4位、2勝1敗だとすると法政をやや上回り2位となる。最終的には2連勝であったので、

		試	勝	敗	分	勝点	勝率
1	明大	10	10	0	0	5	1.000
2	早大	12	7	5	0	3	.583
3	法大	15	7	7	1	3	.500
4	立大	13	6	7	0	2	.462
5	慶大	14	5	8	1	2	.385
6	東大	12	2	10	0	0	.167

単独2位となった。すなわち、勝点を取れば2位、勝点を取れば4位または5位となり不確定な季であった。



参加者：大内、小川徹、小林昇、坂本、高橋（正）、田邊、富澤、中村（幸）、平井

(富澤 文雄 記、田邊 正史 写真)

## 音楽同好会

世話人：北野 二郎  
高橋 文子



今年も早、年の瀬になりました。令和8年の予告です。

- ・次回の例会は、2月に予定しています。次号のニュースに日時・場所を掲載します。
- 寒い季節ですが、歌と歓談で 暖まりましょう。

- ・来年の稲門会創立30周年記念事業では、音楽同好会のイベントとして、北野さんの所属する東村山のバンド「レインボーズ」の演奏を企画しています。

11月ごろに開催予定ですが、詳細が決まり次第、ニュースに掲載しますので、お誘い合わせの上、是非お運びください。

国内外の50～70年代の曲をライブハウスで一緒に楽しみましょう。

来年も よろしくお願ひします。

(高橋 文子 記)

## カラオケ同好会

世話人：黒田 祐司  
田邊 正史

## カラオケルームへ復帰後第 10 回例会

カラオケルームへ復帰後第 10 回例会を 10 月 21 日（火）14:00～17:00、「カラオケ Ban Ban 久米川店」で開催しました。参加者は女性 4 名、男性 7 名、計 11 名。今回もビールとつまみを持ち込み、コーヒー、アイスクリームと共に軍歌、演歌、昭和歌謡、フォークソング、ニューミュージック、アメリカンポップ等の唄が披露されました。今回のトピックは 3 つです。

1) 女性が 4 名、野中夫人が初参加しました。過去最多タイ記録です。2) アメリカンポップ・ヨーロッパポップの 4 曲は原語（英語・イタリア語）で披露されました。3) 例会終了後に参加可能な 9 名で懇親会を開きました。例会後の懇親会としては過去最多の参加者です。

滝川：大きな時計、鎌倉、テネシー・ワルツ（英語・日本語）、愛の讃歌。

野中：峠のわが家、愛人、ひとりぼっちの旅（デュエット）、紅葉（デュエット）。

高橋(文)：白い色は恋人の色、上を向いて歩こう、ひとりぼっちの旅（デュエット）、秋桜、風立ちぬ、紅葉（デュエット）。上町：THE ROSE（英語）、天城越え。

高橋(正)：倅せはここに、山のけむり、二人の世界、勝利の日まで、LAME DES POETES（イタリア語）。

滝来：ジョニーへの伝言、ベサメムーチョ、今はもう誰も、身も心も、天城越え。宮元：すすめの涙、ジョニーの子守唄、都会の天使たち、冬の稲妻、IMAGINE（英語）。小林昇：少年時代、いっそセレナーデ、わかって下さい、決心、小樽のひとよ。平井：つぐない、愛人、時の流れに身をまかせ、行かないで、雨の御堂筋。黒田：霧の摩周湖、裏町酒場、酒と泪と男と女、函館の女。田邊：白い鳥にのって、昨日・今日・明日、愛する人はひとり、白いサンゴ礁、今日までそして明日から。

次回は 12 月 22 日(月)、1 月 26 日(月) いずれも 14:00～17:00、「カラオケ Ban Ban 久米川店」。

(田邊 正史 記・写真)



## 園芸の会

世話人：當間 昭治



「秋まき草花の苗の交換会」を、11 月 11 日(火)に市民センターで行いました。参加者の持ち寄った苗は 15 種 150 個程になりました。(ストック、キンセンカ、月下美人、ポインセチア、アマリリス、ハナカンザシ、パンジー、ペチュニア、ロウバイ、スターチス、シモバシラ、モモイロタンポポ、チドリソウ、スイートピー、サボテン)、アマリリスは会の支柱として活躍された故藤澤博恭さんの苗を

株分けしたものと紹介がありました。富澤さんご夫妻が市民農園で育て収穫した里芋とカブを、そして世話人が過日の市民産業祭に出展し金賞のミカン・銀賞のユズを参加者に配布しました。今回中島さんと小林裕子さんのご主人が初参加、それぞれ園芸に対する思いを話してくれました。

稲門会創立 30 周年記念事業で園芸の会が企画する、1 月 24 日の新年を祝う会で手作りの花の苗を参加者にプレゼントするという件は、スイートピー、ゴデチャ、キンギョソウの 3 種に決まりました。あと 2 ヶ月、早速準備に入ると申し合わせ散会しました。



\*参加者：岡田・木谷（元会員夫人）・小菅夫人・小林裕子夫妻・當間夫妻・富澤夫妻・中島・三宅



## 会員だより

### 故郷・福井を想う

山崎 光夫（昭和 45 年教育。青葉町在住）



その昔、孫自慢と故郷（ふるさと）自慢はいくらしても許される、ときいたことがある。また、「福井ふるさと大使」を拝命し三十年以上になるので、この稿では、わたしの故郷・福井県の食について自慢を交えて紹介させていただく。個人的な福井の味の思い出は何といっても、「身欠きニシン」である。戦後の食料難時代に育ち、子どものころのおやつといえば、身欠きニシンだった。台所に吊るされた竹ざるから一日一本抜き取って、硬い干しニシンをそのまましゃぶり、時間をかけて食べるのである。毎日の「身欠きニシンおやつ」で育ったお陰でさしたる病気もなしに今日に及んでいる。

福井の食材として越前ガニが有名だが、独断と偏見で個人的に食材を三つ選べば、へしこ（サバの糠漬け）、小鯛ささ漬（キダイを米酢と塩で杉の樽に漬ける）、浜焼鯖（串刺しの鯖を丸焼き）に行き着く。日本海からの幸の象徴のように思えてならない。

福井は米どころで品種開発も盛んである。コシヒカリを新潟の特産品と認識している人も見受けられるが、この品種は昭和三十三年に福井県農業試験場で誕生した米なので、れっきとした福井産のお米である。コシヒカリの進化系として福井が開発した次世代の米が、「いちほまれ」である。すでに発売中で、おかずなしに食べられる美味しいお米である。わたしは贈答用として「いちほまれ」を選んでいて喜ばれている。

最近注目しているのが福井市北部の三里浜（さんりはま）砂丘地で作られているオリーブ油である。日本産のオリーブ油というと小豆島くらいしか思い浮かぶが、三里浜オリーブ油は、酸度が 0.8 以下の品をエキストラバージンオイルと呼ばれる中、0.2 のプレミアム数値を示し、オリーブオイルソムリエ協会の品評会で金賞を受賞した。関連商品として、ドレッシングやオリーブ茶が楽しめるのもうれしい。

「百聞は一見に如かず」、というが、食べ物場合は、「百聞は一味に如かず」で、自分の舌で味わう口中賞味をしてみないと分からないものである。ぜひ福井の味をお試ください。

### 安房稲門会の思い出

中島 章隆（昭和 49 年法。恩多町在住）



14 年前の話になります。千葉県館山市に転勤し、单身生活を始めました。着任して間もないころ、地元の安房稲門会から総会兼忘年会の誘いがありました。JR 館山駅近くの老舗旅館に集まったのは 9 人。最長老は 87 歳（昭和 24 年教育卒）の元教員で、大半が 70 代。初参加の私は下から 2 番目の若輩でした。地元の老舗菓子店の元社長や観光旅館のオーナー、古刹の住職、病院の元事務長など地元の名士が顔をそろえていましたが、仕事は息子たちの代に譲り、悠々自適の人ばかり。


当日の総会の議題は「会の解散」でした。会員が高齢化し、数も減少。東京六大学野球や関東大学ラグビーなどの早稲田グッズの購入ノルマも負担となり、活動継続が難しくなったというのです。初めて参加した安房稲門会の総会が、あろうことか「解散総会」になってしまいました。

安房地区は館山、鴨川、南房総の 3 市と鋸南町を合わせた千葉県南部の約 576 平方<sup>キロ</sup>で、面積は東村山市の 33 倍も広い。しかし、人口は 13 万人弱で東村山市より 2 万人も少ない過疎地域です。人間よりイノシシやキョンなどの野生動物の方が多そうな地域だから稲門会の会員が少ないのも無理はありません。

5 年前、館山を離れるにあたり元会員のみなさんに送別会を開いてもらい、安房稲門会は完全に消滅したと思っていたのですが、近年、若い移住者たちが中心になって新・安房稲門会が結成されたという話を聞きました。大学の音楽サークルを招いてコンサートを開くなど活発に活動しているそうです。嬉しくなると同時に、改めて早稲田の底力を感じることができました。どんなメンバーでどんな活動をしているのだろう。機会があればまた報告したいと思っています。

同好会・イベント 短期予定表					一：対象月に開催予定無し、＊：ニュース編集時点で未定。					
同好会・行事	12月				1月				世 話 人 (問合せ先)	
	日	曜	時 間	場 所	日	曜	時 間	場 所		
ウォーキングの会	－	－	－	－	－	－	－	－	真 泉 杉 本	
郷土史の会	－	－	－	－	－	－	－	－	阿部茂	
テニス同好会	1	月	9:00～13:00	柳泉園 E	4	日	9:00～13:00	運動公園 E	吉田(劭)	
	5	金	9:00～13:00	運動公園 C	7	水	10:00～14:00	柳泉園 E		
	8	月	9:00～13:00	運動公園 C	9	金	9:00～13:00	運動公園 C		
	10	水	9:00～13:00	運動公園 C	14	水	9:00～11:00	運動公園 C		
	14	日	9:00～13:00	柳泉園 E	17	土	9:00～13:00	運動公園 C		
	15月,17水,20土,21日,24水,27土。詳細はHP参照。				19月,25日,28水,31土。詳細はHP参照。					
囲碁 同好会	4	木	12:30～16:30	社会福祉センター	7	水	12:30～16:30	社会福祉センター	青木淳	
カラオケ同好会	22	月	14:00～17:00	カラオケBanBan久米川	26	月	14:00～17:00	カラオケBanBan久米川	黒 田	
園 芸 の 会	－	－	－	－	－	－	－	－	當 間	
麻雀 同好会	21	日	12:30～18:30	麻雀サロン「園」	－	－	－	－	工 藤	
音楽 同好会	2	火	14:00～16:30	カラオケBanBan久米川	－	－	－	－	高橋(文)	
俳句 同好会	18	木	13:00～16:00	社会福祉センター	－	－	－	－	副 島	
ゴルフ同好会	－	－	－	－	－	－	－	－	尾 島	
女 子 会	－	－	－	－	－	－	－	－	滝 川	
早稲田スポーツを 応援する会	7	日	13:30～16:00	国立競技場	－	－	－	－	小 森	
書 道 同 好 会	28	日	15:40～17:00	萩山公民館	31	土	15:40～17:00	萩山公民館	大 森	
市民雑学講座(映画)	6	土	14:00～16:30	サンバルネ・ホール	－	－	－	－	吉田勝	
お誕生会(9～12月生)	13	土	12:30～14:30	Kitchen KEIJI(久米川)	－	－	－	－	小野(浩)	
新年を祝う会	－	－	－	－	24	土	14:00～17:00	サンバルネ・ホール	伊 藤	


編集後記



○いきなり寒くなってきました。夏と冬しかない二季ではないかといわれます。この二季というのは錯覚ではないようです。三重大の研究によれば 2024 年の夏は 133 日、1 年の 3 分の 1 以上を占め、夏がこの 40 年間で 21 日増えているそうです。これは地球温暖化のせいようです。  
(伊藤 栄 記)

次号の締め切りは 12 月 18 日 (木) です。皆様の投稿をお待ちしています。

ホームページ  
カレンダー



俳壇

桜木の葉の散り終えて冬籠る  
冬の宿一步踏み入れば春の様

八木 竜湖

黒田 柿黒

師走でも午後のカラオケ老人会  
痛風と牡蛎<sup>かき</sup>を比べて思案顔

小久保 野火児

刈り入れを見守っている案山子かな  
木枯らしや友の弔報届きけり

副島 鶴来

合唱に心洗われ十二月  
年暮や「つゆだく」搔つ込む仲買人

中沢 豆乳

ポケットでつなぐ手うれし酉の市  
温厚なクマのプーさん今いづこ

森川 ねここ

ゆつたりとマフラ―巻かれ別れたり  
夕闇や寒木の群迫りくる

山口 泰山

年の市バックヤードは箱の山  
暮れの寄席トリは人気の一之輔

菊田 一平

天晴な県知事賞の菊の鉢  
たつふんと揺れて灯油のポリタンク